

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ過という理由で近くの散歩や花見のドライブしかできていない。	コロナも5類になったので利用者、スタッフ共に感染症対策を行い利用者の希望に沿った外出支援を行って行く。	今までは花見や涼しい時期しか外出を実施していなかったが、月行事の担当のスタッフに計画してもらい月一回は外出支援できるよう取り組む。月の職員会議などにて各スタッフに周知してもらう。	12ヶ月
2	11	当日の職員個人の意見のみで色々な事を変更することがある。全体ノート等に記載しているが全体の周知には至っていない。	業務改善を変更する場合は職員会議を行い、個人の意見のみで変更するのではなく皆の意見交換を行い変更していく。	変更したことを1日2日で元に戻すのではなく一週間様子をみて今後どうするか意見を出し合う。	12
3	13	個人により得手不得手はあると思うが業務について苦手な事に進んでチャレンジせずに得意な業務のみ行いスキルアップできていない。	スタッフ一人一人のスキルアップを目指し統一したケアが行えるよう取り組む。	内部研修のみでなく外部研修に積極的に参加したり、施設内で介護技術の研修などを行い、個々のスキルアップを目指す。	12ヶ月
4	27	カンファレンスをせずにその場でケアの見直しをおこなっている。	その場の職員のみでケアの見直しするのではなくカンファレンス実施後、見直しを行う。	ケアの見直しなどについてはカンファレンス後に見直す事を周知しカンファレンスを行う癖をつける。	12
5	21	業務に追われ、利用者様の楽しみのレクリエーションの関わり、時間が減ることが多くみられる。	午前中の個別レクを増やし、個々に対応できるようにする。午後レクリエーションは14時～15時のおやつまでその日の利用者様が楽しかったと帰宅出来る様にレクリエーションを実施する。	午前中は個別に出来るもの(パズル、色塗り、毎月カレンダー、リハビリ等)を作成し、個人に合わせた個別レクを実施していく。午後は集団で楽しめる体操、道具を使ったレクリエーションを考えていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。